

合格体験記

※ 本校「進路参考資料（2020～22年）」より（一部省略）

〔国公立大学〕愛知教育大学・教育学部・初等教育教員養成課程・社会選修

僕が受験を意識し始めたのは2年生の冬頃でした。2年の夏には志望校を愛知教育大学と決めていたので、すぐに受験モードに入ることができました。国公立大学は科目数が多いので、曜日ごとにやる科目を決めていました。僕は予備校などに行っていなかったため平日は家に帰ってすぐに勉強を始め、休日は朝早く起きてしていました。また、授業後や夏休みに行なわれる補講にも積極的に参加しました。（中略）

ここからは日々の授業や家庭でやっておいた方がいいことをいくつか書きます。1つ目は授業中、先生の話をしっかり聞くことです。授業中に先生がした話そのまま模試や本番の試験の選択肢の1つに出ることがあります。問題を素早く解くためにも先生の話はよく聞くべきです。2つ目は同じ問題集を何度も繰り返し解くことです。僕も2年生の冬に買った数学の問題集を3年生の夏までに5周以上し、確実に基礎力をつけていました。受験生になると新しい問題集をどんどん買いがちですが、同じものを何度も解き、完璧にかつ素早く解けるようになるまでする必要があります。3つ目は得意な教科こそ勉強することです。科目数が多くなればなる程すべての科目を完璧にするのは難しくなります。その科目をカバーするためにも苦手なものを無理に伸ばそうとするのではなく、伸びやすい得意な教科こそ積極的にやっていった方がいいと思います。これらの効果は人によって個人差がありますが、重要なのは自分に合った方法を早く見つけることです。そうすれば少しでも合格に近づくはずなのでがんばってください。

〔国公立大学〕愛知教育大学・教育学部・中等教育教員養成課程・保健体育専攻

〈前略〉私が受験を意識し始めたのは3年の5月頃です。担任の先生に国公立を目指す人は1日10時間は勉強してるよと言われ、目指す以上腹くくってやらないと駄目だと思ったのがキッカケでした。クラスで配られた学習計画表を毎日書き、教科の偏りや勉強時間を見直しました。これは目で今までやったことが見られるので、後の自信につながりました。また、教科担任の先生に分からないところを聞きに行ったり、講座に積極的に参加したりして苦手を克服しました。私は塾や通信教育などを一切やっていなかったため、本当に学校で教えていただいたことが全てです。ただ、遅れをとるのが嫌だったので、赤本、河合、東進などの過去問は全て解き、解説を読んで理解に努めました。

今回、私が受験を通して思ったことは、受験は覚悟が必要で、毎日の積み重ねだということです。これをやり遂げるには周りの人の存在が欠かせません。自分の目標を周りに伝えて、親や友達や先生などからアドバイスもらったりお互いを高め合ったりして、夢を実現させて下さい。最後まで諦めず、自分を強く持って頑張ってください。（後略）

[国公立大学] 名古屋市立大学・経済学部(一般)

僕が受験を意識し始めたのは3年生の春頃です。それまでは部活をしていたのであまり受験のことは考えていませんでした。そのため1・2年生の頃は学校の定期テストの勉強をテスト週間にするくらいでした。けれど、3年生になって大学に行くためにしっかりと勉強に取り組むようになりました。

僕は英語がとても苦手だったので、勉強を始めた頃は毎日単語を100語覚え、文法は中学の範囲からやり直しました。なので、英語が苦手な人は一から始めることをオススメします。数学については学校で買ったチャートをひたすら解きました。このようにして夏までは勉強を進めました。夏以降は共通テストで必要な科目の勉強も始めていきました。主にスタディサプリや参考書を使っていました。僕は予備校には通っていませんでしたので、スタディサプリにはとても助けられました。参考書は一度に何冊も手をだすのはやめた方がいいと思います。それよりも一冊ずつ完璧にしていくことをオススメします。

最後になりますが、僕は模試を受ける度に成績は上がってはいましたが、それでも第1志望の大学はほとんどずっとE判定でした。ですが、僕は第1志望の大学に合格することができました。だから模試の判定にはとらわれすぎはいけません。最後まで諦めずに勉強を続ければどこかできっと学力は伸びます。だから諦めずに頑張ってください。応援しています。

[国公立大学] 愛知県立大学・情報科学部・情報科学科

僕が受験において大事だと思うことは、計画と習慣です。僕は普段から毎日1時間は勉強するようにしていましたが、高校3年生の4月からは受験を意識して少しずつ時間を増やしていき、8月に入るときには自然と勉強時間が10時間を越していました。ここで大事なことが勉強の習慣化だと思います。勉強への意欲が勉強習慣によるON・OFFの切り替えで危機感に変わってしまいました。僕も勉強をやりたくない日はありました。でも、それ以上にやらなければならないという意識を持っていました。また、毎週金曜日にはその1週間の計画も立てていました。内容は具体的なものではなくざっくりしたものですが、それによって質の高い勉強ができていたと思います。

僕は受験勉強中、自分のやり方があっているのか、本当にこれで成長できるのか常に不安でした。そんな時、ある先生から「できないことよりも、できるようになったことを考えろ！」と言われました。確かに勉強を始めた当初に比べたらどの教科もできるようになっていることに気づき、自信を持つようになりました。その自信はセンター試験においてとても役に立ちました。ですから、これから受験をする皆さんも自分の勉強方法や模試の結果に不安になるかもしれませんが、自信を持って自分なりのやり方でがんばってください。(後略)

[国公立大学] 三重大学・工学部・総合工学科 総合工学コース

僕は物理・数学が得意でした。みなさんは、解答冊子にのっている解き方・導き方が絶対だと思っているかもしれませんが、それは違います。それは単なる一例であるだけで、それに縛られず、多少遠回りしても自分の考えで解いた方がその問題への理解が深まるのです。僕はそこに物理・数学の面白さがあると思います。〈中略〉

僕は、こんな言葉を聞いたことがあります。

「一日百個覚えるより、百日で一個ずつ覚えた方がより自分の力になる。」

僕もこの意見には賛成です。結局勉強をするうえで大事なことは「続ける」すなわち勉強を生活リズムの中に組み込むということです。僕が受験を意識したのは二年生の三月でしたが、最初は何をやればいいかがわからず、とりあえず英単語・英熟語を少しずつ覚えていきました。そしたらいつのまにか、センターレベルなら読めない単語はなくなっていました。また、毎日長時間勉強を続けていると、日に日に「やった方がいい」から「やらなければならない」という義務感に変わっていきました。「続ける」ということは、気持ちを向上させる成功への近道なのです。〈後略〉

[私立大学] 南山大学・経営学部・経営学科

〈前略〉1つ目は、時には諦める事です。僕は英語には自信がありましたが、国語と日本史が苦手でした。両方やりたかったのですが、時間が限られていたのでやっても思うように点が伸びない国語より、やっただけ点が伸びそうな日本史をより多く勉強する事にしました。結果、日本史が好きになりセンターでの点数も良く、国語でも案外悪くない点を取れました。限られた時間の中で勉強するのですから、より得点を取れる選択をするのが大切です。

2つ目は、大学の試験情報や勉強法などの情報収集です。例えば、大学の試験情報については、教科や得点配分はもちろんですが、資格が使えるかどうかを調べると良いです。例えば僕の年では、私立大学の入試で、英検のスコア・級によってセンター試験の得点換算や加点などが行われていました。2021年から入試の形は変わりますが、使える物を最大限活用して大学を有利に受験するためにも情報収集は重要です。そして、情報を集めて勉強が捗ってきたら、次はなるべく早く過去問を解きましょう。分からない所がはっきりするのでやるべき事が明確になります。

3つ目は、寝る事です。これが一番重要だと思います。僕は最低でも7時間は寝るようにしていました。寝る時間を設定しておいて、その1時間前からはスマホやテレビなどを見ないようにすると、眠りの質も上がって次の日にはやる気が湧いてくるはずです。〈後略〉

[私立大学] 南山大学・法学部・法律学科

〈前略〉僕は英語が苦手だったので特に力を入れて勉強していました。単語は2週間で1500語を覚え、その後は文法の参考書を買って何回も解き直しました。僕は計画を立てることが嫌いだったので1日に勉強する時間だけを決め、今の自分に足りない勉強をしていました。僕は秋に中京大学の推薦入試に合格していたので、それ以降は南山大学の対策に集中することができました。南山は英語の問題が特殊で知識問題が多かったので、センター試験までは赤本はやらずにずっと基礎をやり続けていました。さらに英語の長文を速く読むために長文を音読していました。〈後略〉

[私立大学] 中京大学・法学部・法律学科

僕は現代文の試験のみ課される高大接続入試の基礎学力型で中京大学に合格しました。3年生の夏まではセンタープラス方式や一般入試での合格を目指していましたが、大学のパンフレットでこの入試方式を知ったことをきっかけにこの試験の受験を決めました。〈中略〉

また、僕は法学部の入試を受験したのですが、法律に絡めた問題が出題される傾向があると分かっていたので、政治経済の政治分野を中心に勉強しました。特に『蔭山のセンター政治・経済』という参考書にはとてもお世話になりました。

受験を終えて、もっとしておけばよかったと思うことは、いろんな大学の過去問を解いてみることです。試験問題に慣れるための目的もありますが、やはり自分の答案を丁寧に答え合わせすることでしっかりと記憶に定着するので、皆さんの勉強の意欲を後押ししてくれるはずです。〈後略〉

[私立大学] 愛知淑徳大学・人間情報学部・人間情報学科

〈前略〉私が受験をする上で、まず、一番初めに重要だと思ったことは自分の目指す大学についての情報です。入試についてだけでなく、その大学の雰囲気や授業、活動などを知ることが重要だと思います。私は、大学のことを調べ、この大学でこんな授業を受けてみたいと思ったことで勉強へのモチベーションが上がり、入試で必要だった面接や志望理由書にも役立てることができました。

私が受けたAO入試には小論文と面接が必要で、特に小論文は苦勞しました。書き始めた頃は文章を書く以前に問題に対する自分の考えが浮かびませんが、一般入試の勉強と並行してその問題についての知識を調べたり、ネット上の意見を読んだりしている内に考えが浮かぶようになり文章が書けるようになりました。小論文は回数をこなして慣れるのも大事ですが、その問題に対しての知識も大事だと思うので、自分が行きたい学部や学科の知識を日頃から学んでおく方がいいと思います。

私は一般入試対策として古典と英語の講座を受けていました。かろうじてAO入試に合格した後も最後まで続けました。理由は友人が頑張っていたことと、自分の中でセンター試験までは受験勉強を続けようと思っていたからです。推薦入試で合格してしまうと、その後の勉強をする気がなくなってしまうと思います。私もそうなりかけていましたが、目標を作ったおかげでもう少し頑張ろうと思えました。〈後略〉

[私立大学] 名城大学・理工学部・機械工学科

〈前略〉僕は部活から帰るとすぐに寝てしまい、家での勉強はほとんどできていなかった。授業を寝ることなくしっかりと聞いて授業中にわからないところを理解することを徹底していました。その結果、高い評定をとることができて、指定校推薦という選択肢を選ぶことができました。〈中略〉

「指定校推薦は逃げだ。」と言われることもよくあります。僕は逃げだと思われてもいいと思います。自分で選んだ道に自信を持ってください。他人になんと言われようが関係ないです。指定校推薦は、自分が行きたい大学に行くための1つの手段なので、自分に自信をもって大丈夫です。その代わりに学校の代表として選ばれるわけなので、その自覚をもって生活しなければなりません。

最後に、進路が決まっていなくても、毎日少しずつでもいいので勉強をしてください。そうすれば選択肢が増えると思うので頑張ってください。勉強はやった分だけ自分に返ってきます。自分に自信をもって頑張ってください。

[私立大学] 中部大学・応用生物学部・応用生物化学科

私が受験を意識したのは、担任の先生が受験に対する意識が甘いとクラス全体に言った2年生の冬頃です。それから、コロナの影響でしばらく休校になることが決まって、私はこの期間を無駄にしたら終わりだと思い、とりあえずターゲット1400を覚えることにしました。休校期間は英単語を中心に自分で計画を立てて勉強しました。今まで家で勉強をする習慣がなかった私は、机に向かうことが苦痛だったので、スマホでクイズ形式で勉強できるターゲットのアプリがとても役に立ちました。また、効率よく勉強するために、エビングハウスの忘却曲線を参考にして復習も怠らずにやりました。学校が再開して3年生になり、2年間たくさん部活動に時間を費やしたのに、自分たちの最後の試合ができなかったというやるせない気持ちもありましたが、なんとか受験モードに切り替えました。しかし、思うように成績は伸びず、私は最後の最後まで模試の判定がE判定でした。模試の結果が返ってくる度にあきらめようかなと考えました。担任の先生は「現役生は最後に伸びる」と言ってくれましたが、正直、その言葉を信じることはできませんでした。しかし、後期試験まで頑張り続けて無事合格を勝ち取ることができました。

受験を終えて、皆さんに伝えたいことが2つあります。1つ目は、スマホを武器にしてください。勉強法も勉強アプリも調べればたくさん出てきます。スマホは勉強の邪魔になりがちですが、武器にしていけば強いと思います。2つ目は、受験は団体戦です。わからない問題に直面したときは友人や先生にどんどん聞きましょう。心が折れそうになった時でも、今までサポートしてくれた人のためにも頑張ろうと思うことができました。〈後略〉

[私立短期大学] 名古屋短期大学・保育科

〈前略〉私は他の子と比べ、集中力も自分に合った勉強方法も身につけておらず、かなり遅れをとっていました。そこで第1に始めたことは過去問を解くことです。1度解いてみて分かるのが自分の実力と、何が自分に足りないかです。これにより、何から勉強をすれば良いかが分かりました。第2は、先生に聞くことです。分からないことを追究することにより、自分の力がとてもつきました。第3に友達と協力することです。気持ちが落ち込んで嫌になった時に、気落ちせず、ふんばることができます。私の友人は私のために小テストを作ってくれたり、お守りをつくってくれたり、とても協力してくれました。本当にこれは私にとってとても励みになり、負けそうになっても頑張ることができました。もし自分の受験が終わったとしても、最後まで友人を支えてあげてほしいです。最後は自分の強みを知ることです。面接、小論文、テスト。私は面接が得意なので第一に面接で、第二にテストで受験しました。結果、両方受かることができましたが、自分の得意なもので戦うことは大切だと思いました。

最後に、私は2年生までは受験はなんとかなると思っていました。ですが、自分の目指したい大学は必死で勉強しなければなんとかなりませんでした。必死でやってもなんとかならないこともあります。なので、しっかりと計画を立て、頑張ってください。

[看護系専門学校] えきさい看護専門学校・看護学科

〈前略〉私は受験勉強を始めるのが遅かったので、受験まではとにかく過去問を解きました。1度も解いたことのない過去問を制限時間内に解くことを目指し、終わった後で、分からなかったり、間違えたりした問題は、自分で解法を調べたり、先生に聞くなどして理解し、類題も解く、ということを繰り返し行いました。ご飯を食べている時や寝る前には、携帯アプリで英単語を覚えていました。過去問を解く際に大事な点は、問題の形式を覚えることです。専門学校には、各学校で出題傾向が必ずあり、数学では、数字はもちろん変わりますが、確定と言えるほど出る問題もあります。これらの問題の解法を覚えておけば、かなり解くスピードが上がるので、覚えておくことをオススメします。

最後に、受験は自分のためにするものです。当たり前のことですが、自分の未来を明るくするためにも、努力を怠らず勉強を頑張ってください。皆さんの合格を心より願っています！